

**2017(平成29)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）**  
**法律学科・経済学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科（心理）**  
**【選択科目：日本史 B】**

**注 意 事 項**

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

## 2017(平成29)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

### 法律学科・経済学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理) 【日本史 B】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の2つの史料を読んで、各問に答えなさい。

史料A

禁制

一、銭をえらふ事

段銭の事ハ、わうこの例たる上ハ、えらふへき事、もちろんたりといへとも、地下仁  
ゆうめんの儀として、百文に、永楽・宣徳の間廿文あてくハへて、可収納也、  
(大内氏掟書)

史料B

一、商売の輩以下撰銭の事、明応九・十

近年恣に銭を撰ぶの段、太だ然るべからず。所詮日本新鑄の料足に於ては堅く之を撰ぶ  
べし。根本渡唐銭永楽・洪武・宣徳等に至りては、向後之を取り渡すべし。  
(建武以来追加)

問1 史料Aは周防の守護大内氏によって文明17年に出された撰銭令である。周防は現在の何  
県の一部か、書きなさい。(2点)

問2 史料A下線部の段銭は何と読むか、また何のことか説明しなさい。(各2点)

問3 史料A・B下線部の永楽や宣徳の貨幣は中国の何という王朝が発行した銭か、また銭の  
材質は主に何という金属でできているか、書きなさい。(各2点)

問4 史料B下線部の明応九年は西暦で何年か、下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

ア. 1400年

イ. 1500年

ウ. 1600年

問5 史料B下線部の日本新鑄の料足は一般になんと呼称されているか、書きなさい。(2点)

※1 試験終了後、「宣徳」から「宣徳」に修正しましたが、採点や合否に影響ありません。

問6 史料A・Bに記された撰銭は具体的にどのような行為か、次のうち説明として正しいものを下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

- ア. 市場での売買等に際して、悪銭を拒否し良質の銭を選ぶ行為
- イ. 中国渡来の銭の受け取りを拒否し、日本の新しい銭で売買を行う行為
- ウ. 客を選んで、銭の受け取りを拒否する行為

問7 史料Bは、室町幕府が追加法令として発布したものである。本条は何か、下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

- ア. 憲法十七条けんぽうじゅうしちじょう
- イ. 御成敗式目ごせいばいしきもく
- ウ. 武家諸法度ぶけしよはつと

問8 史料A・Bの関係について説明の誤っているものを下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

- ア. 史料Aは撰銭令の初見で史料Bよりも早い事例
- イ. 史料Aは比率を定めて、史料Bは排除する銭と受け渡しする銭を定めた
- ウ. 史料Bの幕府の発布を受けて、史料Aで大名が禁制を出した

Ⅱ. 次の文の 1 ～ 15 の空欄に入る語句を、語群の中から選び記号で答えなさい。(各 1 点)

今からおよそ 1 万年余り前、地球の気候は ( 1 )、日本列島も海面が上昇し動物・植物相などが変化した。このような自然環境の変化に対応し、人々の生活も大きく変わり縄文時代が成立する。この時代を特徴づける道具は縄文土器、弓矢、( 2 )等があげられ、シカやイノシシを追い、木の実を拾う ( 3 ) 社会であった。

およそ紀元前 4 世紀頃までには日本列島に大陸から ( 4 ) が伝わり弥生時代が成立。煮炊き用の甕、貯蔵用の壺、食物を盛る高坏などの弥生土器が用いられた。この時代に ( 5 ) が普及するとともに、( 6 ) 集落など大規模な集落もあらわれた。いくつかの集落が統合し、政治的なまとまりをつくり小国がうまれた。これは、中国の歴史書からもうかがうことができ、( 7 ) によると、( 8 ) の社会は百余国に分かれていたという。( 9 ) によると、2 世紀の終わりころに争いがおこり、これをおさめるために諸国は共同して ( 10 ) の女王卑弥呼をたてたところ、争乱がおさまり、( 10 ) を中心とする小国連合が生まれた。卑弥呼は 239 年に魏の皇帝に使者を派遣し ( 11 ) の称号と ( 12 ) を多数賜ったとされている。

3 世紀後半になると前方後円墳をはじめとする古墳が出現する。この時代には前代の土器文化の系譜を引く ( 13 ) や朝鮮半島の製作技術が伝えられ登場する ( 14 ) が用いられた。近畿地方を中心に広域な政治連合をつくった ( 15 ) が地方を含み支配体制を形成していった。

【語群】

- |         |         |            |            |         |
|---------|---------|------------|------------|---------|
| ア. 磨製石器 | イ. 銅鏡   | ウ. 土師器     | エ. 須恵器     | オ. 金属器  |
| カ. 水稻稲作 | キ. 狩猟採集 | ク. 騎馬技術    | ケ. 環濠      | コ. 馬蹄形  |
| サ. 渡来人  | シ. 倭人   | ス. 『漢書』地理志 | セ. 『魏志』倭人伝 | ソ. 奴国王  |
| タ. 親魏倭王 | チ. 邪馬台国 | ツ. ヤマト政権   | テ. 暖かくなり   | ト. 寒くなり |

Ⅲ. 1 ～ 5 の建築物に関連すると伝えられる「人物」と所在する「府県名」をそれぞれ記号で答えなさい。(各 1 点)

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 唐招提寺金堂 | 2. 中尊寺金色堂 | 3. 鹿苑寺金閣 |
| 4. 彦根城    | 5. 日光東照宮  |          |

- 【人 物】 a. 井伊直継      b. 藤原清衡      c. 鑑真      d. 徳川家光      e. 足利義満

- 【府県名】 ア. 奈良県      イ. 栃木県      ウ. 滋賀県      エ. 京都府      オ. 岩手県

Ⅳ. 次の史料（下関条約）を読んで、各問に答えなさい。

第一条 清国ハ朝鮮国ノ完全無欠ナル独立自主ノ国タルコトヲ確認ス。(略)

第二条 清国ハ左記ノ土地ノ主権並ニ該地方ニ在ル城堡・兵器製造所及官有物ヲ永遠日本国ニ割与ス。

一. 左ノ経界内ニ在ル奉天省南部ノ地 (略)

二. 台湾全島及其ノ付属諸島嶼

三. 澎湖列島 (略)

第四条 清国ハ軍費賠償金トシテ庫平銀二億両ヲ日本国ニ支払フベキコトヲ約ス。(略)

(日本外交年表並主要文書)

問1 下関条約は何年に締結されたか。西暦年で答えなさい。(2点)

問2 下関がある県の名前を書きなさい。(2点)

問3 下関での講和会議の日本の全権と清国の全権は誰か。それぞれ下記から選んで記号で答えなさい。

(2 × 2 = 4点)

ア. 伊藤博文

イ. 大隈重信

ウ. 袁世凱

エ. 李鴻章

問4 「奉天省南部ノ地」の半島の名前を書きなさい。(2点)

問5 「奉天省南部ノ地」の割譲は三国干渉をまねいた。三国の国名で正しい組み合わせを下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

ア. フランス・ドイツ・ロシア

イ. フランス・ドイツ・イギリス

ウ. フランス・ドイツ・イタリア

問6 三国干渉をうけた日本の国民のあいだで生まれた合言葉はどれか。下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

ア. 堅忍持久

イ. 臥薪嘗胆

ウ. 富国強兵

問7 賠償金の使い道で一番多いのはどれか。下記から選んで記号で答えなさい。(2点)

ア. 災害準備資金

イ. 臨時軍事費

ウ. 軍備拡張費

問8 賠償金で建設された製鉄所の名前を書きなさい。(2点)

問9 日清戦争前後は、<sup>※2</sup>「脱亜論」が<sup>※3</sup>さかん<sup>※3</sup>に主張された。『時事新報』の社説で「脱亜論」を論じた人物の名前を書きなさい。(2点)

※2・3 試験終了後に上記の通り修正しましたが、採点や合否に影響ありません。

V. 次の文の 1 ～ 15 の空欄に当てはまる語句を、語群の中から選び記号で答えなさい。(各 1 点)

徳川吉宗が 8 代将軍になったとき、悪化している幕府財政の立て直しを図る必要があった。吉宗は、( 1 ) をだして支出をおさえる一方で、町人の出資による ( 2 ) を奨励し、( 3 ) を実施することで年貢の増徴をはかった。また大名に対しても石高一万石につき米百石を幕府に献上させる ( 4 ) を命じた。さらに経済政策とともに行政組織と法制の整備もすすめた。有能な人材を登用する ( 5 ) や庶民の意見を政治に反映させるため ( 6 ) に目安箱を設置し、さらに裁判や刑罰の基準を定めた ( 7 ) を編集した。

10 代将軍 ( 8 ) の時代に幕政を担当したが老中田沼意次であった。意次は、商人の経済力を利用して財政再建をすすめた。( 9 ) を公認し営業税の増収をはかり、さらに特定の商人に ( 10 ) をつくらせて、運上金を徴収した。貿易でも銅や ( 11 ) の輸出を奨励した。

11 代将軍 ( 12 ) を補佐し、幕政改革を担ったのが老中松平定信である。定信は、吉宗の改革を理想とし、財政の立て直しのために徹底した緊縮財政政策をとった。旗本・御家人を救済するため ( 13 ) をだし、貧民対策として町費を節約した ( 14 ) を設けた。また、無宿者対策として石川島に ( 15 ) を設置した。さらに、江戸に流入した農民に資金を与えて農村に帰ることも奨励した。

【語群】

- |                              |   |                                     |                               |
|------------------------------|---|-------------------------------------|-------------------------------|
| ア. 家定 <small>いえさだ</small>    | イ. 人足寄場 <small>にんそくよせば</small>          | ウ. 家斉 <small>いえなり</small>           | エ. 株仲間 <small>きえんかい</small>   |
| オ. 俵約令 <small>えいやくれい</small> | カ. 七分金積立制度 <small>しちぶんきんせきりつせいど</small> | キ. 相対済し令 <small>あいたいすましれい</small>   | ク. 棄捐令 <small>きえんれい</small>   |
| ケ. 家治 <small>いえはる</small>    | コ. 評定所 <small>ひょうじょうしょ</small>          | サ. 足高の制 <small>たしかのせい</small>       | シ. 上げ米 <small>あげまい</small>    |
| ス. 座 <small>ざ</small>        | セ. 検見法 <small>けんみはう</small>             | ソ. 俵物 <small>たわらもの</small>          | タ. 定免法 <small>じょうめんはう</small> |
| チ. 香料 <small>かうりょう</small>   | ツ. 新田開発 <small>しんてんかいはい</small>         | テ. 公事方御定書 <small>くじかたおさだめがき</small> |                               |

Ⅵ. 次の各文の下線部が正しければ○をつけ、間違っていたら正しい語句を書きなさい。(各2点)

1. 1925 (大正 14) 年に成立した普通選挙法では、満 20 歳以上の男子が衆議院議員の選挙権をもつことになった。
2. 1970 年代には、「3 C」とよばれたカラーテレビ・カー・冷蔵庫が普及した。
3. 1609 (慶長 14) 年、薩摩<sup>さつ ま</sup>の島津氏<sup>しまづ</sup>は江戸幕府の許可を得て琉球に侵攻し降伏させ、琉球国王<sup>しゅうねい</sup> 尚寧を江戸に連行した。
4. 世界遺産松本城<sup>まつもと</sup>は全面白壁塗りで、別名白鷺城<sup>しらさぎ</sup>の名前がある。
5. 来日したケンペルは、長崎<sup>ながさき</sup>郊外に鳴滝塾<sup>なるたきじゅく</sup>を開いて、医療などの西洋学問を教えた。
6. 井原西鶴<sup>いはらさいかく</sup>は、人形浄瑠璃<sup>じょうるり</sup>の脚本として義理と人情にからむ人生の悲劇を作品にした「曾根崎心中<sup>そねざきしんじゅう</sup>」をあらわした。
7. 1872 (明治 5) 年、東京・横浜間に官営の鉄道が開通した。
8. 政治学者吉野作造<sup>よしの さくぞう</sup>は、政治の目的を民衆の利益・幸福におき、そのためには民意を政治に反映させることを主張する民主主義をとらえた。
9. 日中戦争が始まると、政府は国民に挙国一致<sup>きょこくいつち</sup>の協力を要望し、1938 (昭和 13) 年には国家総動員法<sup>こっかそうどういんほう</sup>を制定した。
10. 鴻池<sup>こうのいけ</sup>家が江戸日本橋に開店した越後屋呉服店<sup>えちごや</sup>は「現金掛値なし<sup>かけね</sup>」の新商法で人気を博した。

